



Chromebook 向けの Insight Student – 自動設定

技術白書

最新更新日：2015年6月

Web: www.faronics.com

Eメール: sales@faronics.com

電話番号: 800-943-6422 または 604-637-3333

ファックス: 800-943-6488 または 604-637-8188

営業時間: 月曜日～金曜日 午前7時から午後5時(太平洋標準時刻)

Faronics Corporation. All rights reserved. Faronics, Deep Freeze, Deep Freeze Mac, Deep Freeze Cloud, Faronics Core, Faronics Anti-Virus, Anti-Executable, Faronics Device Filter, Faronics Power Save, Faronics Insight, Faronics System Profiler, および WINSelect は、Faronics Corporation の商標および/または登録商標です。その他すべての会社名および製品名はそれぞれの所有者の商標です。

概要

本書は、Chromebook 向けに Insight Student ソフトウェアを自動設定する方法を説明します。Chromebook 向けの Insight student（学生）を Insight Teacher Console（教師）に接続する前に、Insight Connection Service (ICS) への接続を設定する必要があります。多数の Chromebook を設定するのは手間のかかる作業です。

そこで、起動時に多数の Chromebook を自動設定できるようになりました。この設定を行うには、次の2つの方法があります。1) Google 管理コンソール (<https://admin.google.com>) でアプリケーションを設定します。2) Chromebook デバイスの各セッションの開始時に開くウェブページで表示されないパラメータを設定します。

オプション 1 - 管理コンソールのアプリケーションに特定の設定

このオプションを使用するには、Google Apps for Education のアカウントか、Google Apps for Business のアカウントが必要です。これらのアカウントにより、Chromebook デバイスとユーザー向けのさまざまなアプリケーションやサービスを管理できます。Google Apps アカウントの詳細は、次のサイトをご覧ください。

<https://www.google.com/edu/products/productivity-tools/>



Google 管理コンソールの Chrome アプリの管理機能は、現在 Google でテスト中です。Google がアプリアカウントユーザーに対してこの機能を正式に有効にしない限り、ほとんどのユーザーはアクセスできません。

ユーザーとデバイスに対してアプリアカウントを設定済みの場合は、次の手順に従って、Insight student の自動設定を行うことができます。

1. <https://admin.google.com> からアプリアカウントにサインインします。
2. Insight Student と Insight Web Helper の自動インストールを次のように設定します。
 - ・ 管理コンソールのホームで [端末管理] をクリックします。
 - ・ 画面の左側にある [Chrome 管理] をクリックします。
 - ・ [ユーザー設定] を選択し、画面の左側で、アプリケーションのインストールを設定する組織を選択します。
 - ・ 下にスクロールして [強制インストールされたアプリと拡張機能] を表示し、[強制インストール済みアプリを管理] リンクをクリックします。

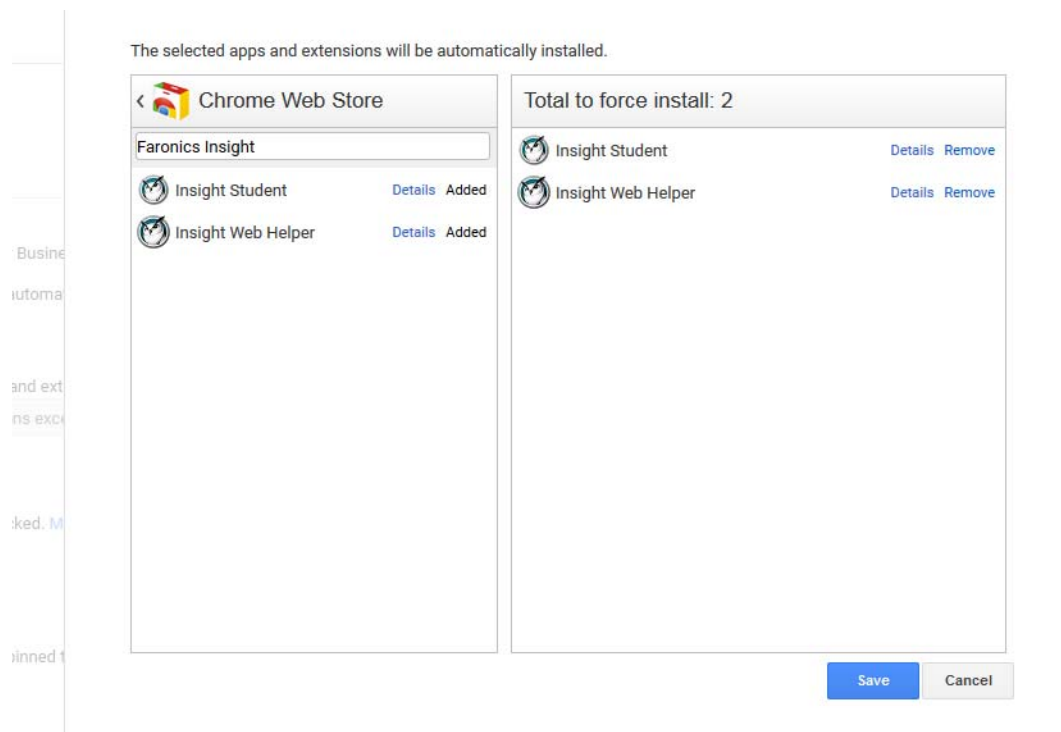
Force-installed Apps and Extensions
Locally applied

Bulk install the Apps pack for Business for your organization. [Learn more](#)

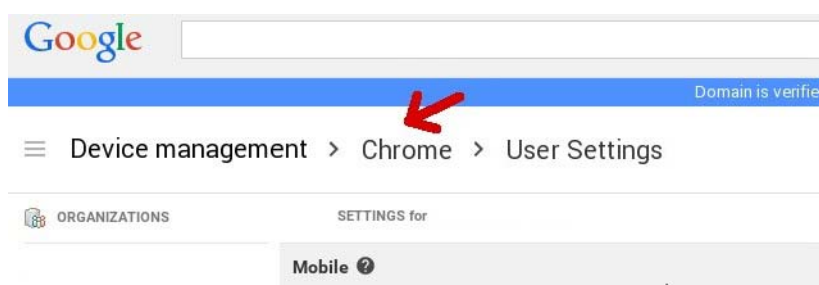
2 apps or extensions will be automatically installed. [Manage force-installed apps](#)



- ・ [Chrome ウェブストア] ボタンをクリックし、検索ウィンドウに「Insight」と入力します。検索が完了すると、リストに Insight Student と Insight Web Helper の2つのアプリケーションが表示されるはずです。
- ・ 各アプリケーションの横にある [追加] リンクをクリックし、次に [保存] ボタンをクリックします。

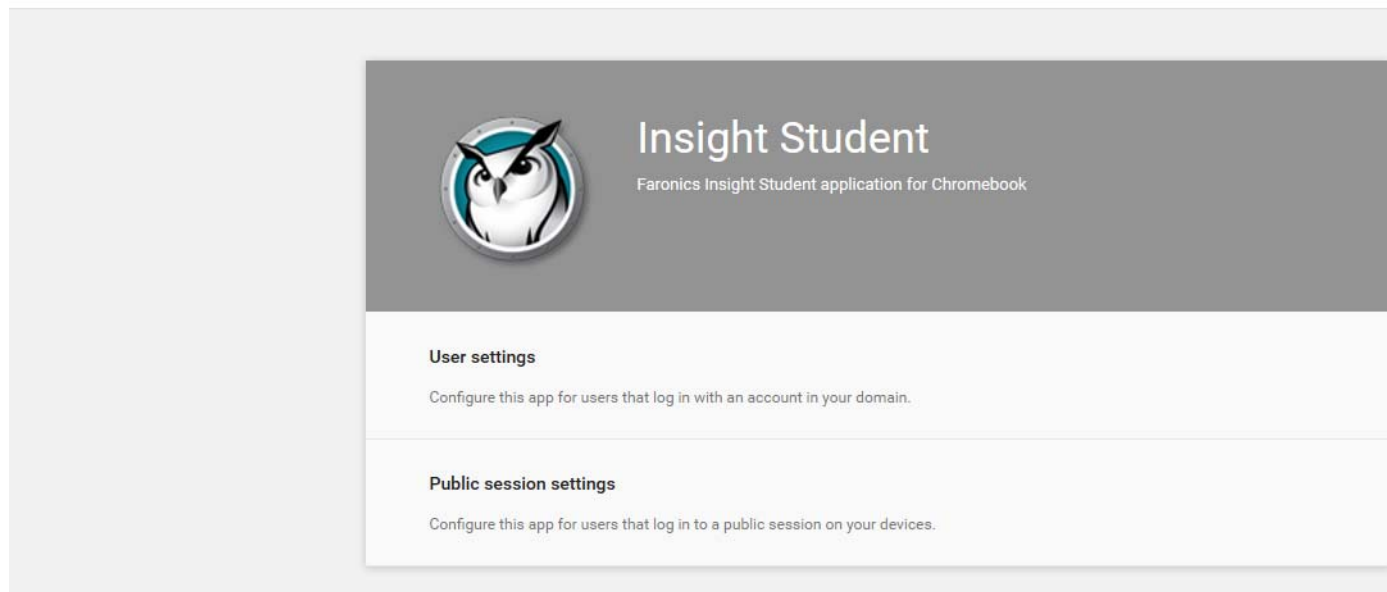


- ・ これで、Chrome ユーザーのために Insight Student と拡張機能の強制インストールが設定されました。
3. 次の手順は、Insight Student のためにアプリケーションを設定することです。
 - ・ 使用する設定ファイルを作成します。これはテキストファイルです。このファイルをローカルハードドライブに保存してから、次の手順に進みます（このセクションの最後にある設定ファイルの例を参照してください）。
 - ・ 画面の一番上の見出しをクリックし、[端末管理] > [Chrome] に戻ります。



- ・ 次に [アプリケーション管理] のセクションをクリックします。アプリケーションのリストに Insight Student と Insight WebHelper が表示されているのがわかります。Insight Student をクリックします。
- ・ 設定画面で [ユーザー設定] をクリックします。

Chrome App Management > Insight Student

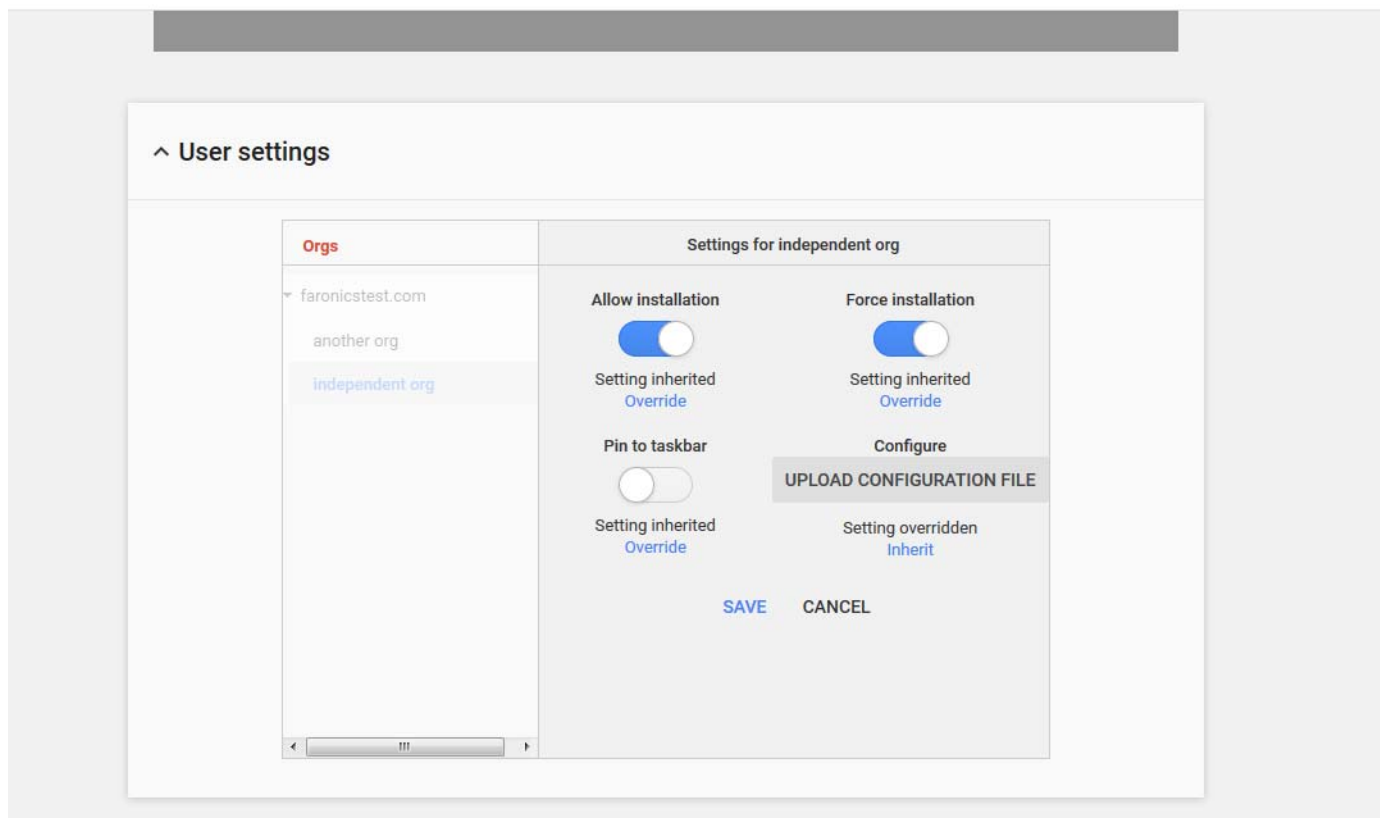


- ・ ユーザー設定を行う組織を選択します。[設定] ウィンドウが表示されます。



定義した各組織に対して異なる設定を行えます。

- ・ [設定] オプションの下にある [設定ファイルのアップロード] を選択します。



- ・ 手順 1 で作成した設定ファイルをアップロードします（次の例を参照してください）。ここをクリックすると、ウィンドウが開いて、ローカルハードドライブから設定ファイルを選択できます。
 - ・ 設定ファイルをアップロードしたら、このウィンドウの下部にある [保存] ボタンをクリックします。
4. 次の方法で、学生の Chromebook に設定が適用されたかどうかをテストします。
- ・ 上の手順で設定の対象として選択した組織の学生アカウントの 1 つを使って、Chromebook にログインします。
 - ・ Chrome ブラウザを開き、ナビゲーションウィンドウに「<chrome://policy>」と入力します。学生のアカウントに対するポリシーが表示されるはずです。
 - ・ 一番上にある [ポリシーの再読み込み] ボタンをクリックし、最新のポリシー設定になっていることを確認します。
 - ・ 右側にある [値が設定されていないポリシーの表示] チェックボックスを選択します。
5. 下にスクロールして、Insight Student の設定を示すセクションを表示します。

Applies to	Level	Policy name	Policy value	Status
Current user	Mandatory	allow_change_c...	false	OK
Current user	Mandatory	allow_preferen...	false	OK
Current user	Mandatory	connection_ser...	10.0.0.148	OK
Current user	Mandatory	connection_ser...	8080	OK
Current user	Mandatory	default_channel	5	OK
Current user	Mandatory	enabled	true	OK
Current user	Mandatory	full_screen_thu...	true	OK
Current user	Mandatory	password_secu...	pwspassword	OK
Current user	Mandatory	stealth_mode	false	OK

6. 以下のサンプルファイルを使って設定した各ポリシー設定が表示されるはずですが。設定が表示されない場合は、次の点を確認してください。
- ・ 管理コンソールで設定したポリシーの対象となる組織に割り当てられているユーザーとしてログインしたかどうか。
 - ・ ポリシーファイルにエラーがないかどうか。



管理コンソールは現時点ではエラーの警告をしません。 jsonlint.com でポリシーファイルの形式をテストすることができます。

- ・ 手順3の説明に従って、[保存] ボタンを忘れずに押したかどうか。

設定ファイルの例

```
{
  "enabled": { "Value": true },
  "default_channel": { "Value": 5 },
  "allow_preferences": { "Value": false },
  "allow_change_channel": { "Value": false },
  "stealth_mode": { "Value": false },
  "connection_server_host": { "Value": "10.0.0.148" },
  "connection_server_port": { "Value": 8080 },
  "full_screen_thumbnail": { "Value": true },
  "password_secure": { "Value": "pwspassword" },
  "context_data": { "Value": " in here" },
  "organization": { "Value": "My Organization" },
  "student_privacy": { "Value": true }
}
```

設定の説明



赤色のオプションは、今後の機能向上のためのプレースホルダーであり、アプリケーションには現在のところ何も影響はありません。

- ・ “enabled” - この設定がアクティブなことを示します（常に “true” でなければなりません）。
true
- ・ “default_channel” - 起動時に学生に対してデフォルトとなるチャンネル。
true / false
- ・ “allow_preferences” - 学生が基本設定にアクセスを許可されるかどうか。
true / false
- ・ “allow_change_channel” - 学生がチャンネルを変更できるかどうか。
true / false
- ・ “stealth_mode” - この設定が有効になっているときは、Insight アイコンと通知が非表示になります。
true / false
- ・ “connection_server_host” - Insight 接続サーバーへの DNS 名または IP アドレス。
- ・ “connection_server_port” - Insight 接続サーバーのネットワークポート。
(設定されていないと、デフォルトで 8080 になります)
- ・ “full_screen_thumbnail” - 「全画面サムネイル」を有効にします。



Google のポリシーで、ユーザーは全画面の画像を共有するための許可を常に求められます。

- ・ “password_secure” - パスワード保護された教師の接続に対して、設定されたパスワードが使用されます（ただし、パスワードが空白でない場合）。

- ・ “context_data” - 現在のところ使用されていません。今後のデータのためのプレースホルダー。
- ・ “organization” - 学生とのやり取り中に、さまざまな戦略的場所で示す組織名。
- ・ “student_privacy” - 「true」に設定すると、学生は起動時に教師による学生の画面または画面のサムネイルの表示をブロックできます。学生がアクセスをブロックすると、教師が学生の画面やサムネイルを表示しようとしたときに、空白の画面とプライバシーメッセージが教師のコンソールに表示されます。



この設定にかかわらず、Chrome の制限のために、「full_screen_thumbnail」を選択しても、学生には全画面アクセスをブロックするオプションが常に与えられません。「student_privacy」が設定されていないと、デフォルトで現在のブラウザのタブが表示されます。

Google 管理コンソールで学生アカウントを設定するためのその他のヒント

端末管理 > Chrome > ユーザー設定

- ・ 「匿名モード」の無効化 - 学生アカウントでは「匿名モード」を無効にすることを推奨します。学生はこのモードを使って、Insight Student ソフトウェアで設定されたウェブ制限を回避することができます。
- ・ 「デベロッパーツール」の無効化 - 学生アカウントでは「デベロッパーツール」を無効にすることを推奨します。このツールが許可されていると、知識のある学生は、Chrome ブラウザに組み込まれたデベロッパーツールを使って、学生のアプリケーションを一時的に変更したり無効にすることができます。

オプション 2 - ウェブページに表示されない設定

この方法を有効にするには、学生が Chromebook にログインすると自動的に開くウェブページに表示されない情報を挿入する必要があります。

この手順は、HTML のウェブページを動作できるウェブサーバーへのアクセスと、Chromebook のウェブブラウザでその特定のページを表示する方法が必要です。

自動設定情報は、HTML ページのメタタグに保存されます。メタタグが HTML のヘッダーデータに存在し、適切にフォーマットされている限り、ウェブページの他のコンテンツにかかわらず、自動設定は機能します。メタタグはユーザーがウェブページを閲覧しても表示されません。メタタグの内容に最低限必要な情報の例は、次のとおりです。

```
"<meta name=" studentconfig" contents=" { 'ics_host':[host name]','
" ics_port':[port] }" >"
```

上の例で、[host name] と [port] の値を、お使いの ICS サーバーの IP アドレスまたは DNS 名、およびポートに置き換えます。一重引用符 (') は、設定情報の内容に使用されています。二重引用符は機能しないため、使用しないでください。有効な設定値は、次の表を参照してください。

オプション	値
ics_host	<p>ホストしているマシンの IP アドレスまたは DNS 名</p> <p>”<meta name=” studentconfig” contents=” { ’ics_host’:’[host name]’,</p> <p>’ics_port’:[port] }” ></p> <p>一重引用符で囲んだ ICS サービス。(例: ’10.0.0.5’ または ’server.myschool.com’)</p>
ics_port	ICS サービスのポート番号。引用符で囲みません。設定しないと、学生はデフォルトのポート番号の 8080 を使用します。(例: 8080)
change_channel	学生がチャンネルを変更できるかどうかを示します。引用符で囲まないブール値: true または false。(例: true または false)
channel	起動時に学生が選択するデフォルトのチャンネルです。これは 1 ~ 16000 までの数値です。(例: 5)
stealth	<p>学生がステルスモードで起動するかどうか。(つまり、メニューなし) 引用符で囲まないブール値: true または false。(例: true または false)</p> <p>注記: この機能は現在出荷されているソフトウェアでは使用できません。</p>
full_screen_thumbnail	これによって、「全画面」のサムネイルが有効になります。注記: ユーザーの許可が必要です。起動時に、ユーザーは画面を共有するように指示されます。ユーザーが拒否したり、ユーザーがどんな時でも共有をキャンセルすると、アプリケーションは現在表示されているタブのサムネイルに戻ります。
allow_prefs	これにより、メインメニューの「基本設定」項目を有効または無効にします。false に設定すると、学生は基本設定メニューにアクセスできません。引用符で囲まないブール値: true または false。(例: true または false)

自動設定の最小ウェブページの例は、次のとおりです。

```

<html>
<head>
<meta name=”studentconfig” contents=”{ ’ics_host’:’<host name>’, ’ics_port’:
<port>, ’change_channel’: false, ’channel’:5, ’stealth’: false, ’allow_prefs’:
false }”>
</head>
<body>
</body>
</html>

```

このウェブページは、ログインまたは認証しなくても、学生のコンピュータがブラウザウィンドウからページに到達できるウェブサーバーに配置する必要があります。ウェブページの設定を難読化する場合、base64に準拠する暗号化ツールを使って、base64でデータを暗号化できます。学生はデータが暗号化されていること、および復号化されていることを検出します。

```
<metaname=" studentconfig"
contents=" eyAnbGNzX2hvc3QnOiAnMTAuMC4wLjE0OCcsICdsY3NfcG9ydCc6IDgwODAsICdjaGFuZ2VfY2hhbm51bCc6IGZhbHN 1LCAnY2hhbm51bCc6IDUsICdzdGVhbHRoJzogZmFsc2UgfQ==" >
```

このウェブページが配置されたら、Chromebook を設定し、ブラウザウィンドウでこのウェブページを開く必要があります。 最良の方法は、Chrome のブラウザ設定に起動「ページ」を設定することです。Chromebook の管理コンソールを使用している場合、[ユーザー設定]の下の[起動]セクションで[ホームページ]のオプションを設定できます。これにより、Chromebook が起動するたびに自動的に設定ページが開きます。



セキュリティのため、Chromebook 向けの Insight Student は、1つのセッションにつき1回のみ自動設定データを読み取ります。 ウェブページで自動設定情報を変更する場合、まず Chromebook をログアウトし、新しい設定を使って更新するために、もう一度ログインする必要があります。

ウェブページ設定を使った、Google 管理コンソールからの自動設定



Google 管理コンソールを使用している場合、学生を自動設定するために望ましい方法は、上で説明した「オプション1」ですが、「オプション1」が使用できない場合、またはウェブページ（メタタグ）オプションを使用する場合は、次の方法が役立ちます。

1. 適切なメタタグを使って、上で説明に従ってウェブページを設定します。このウェブページが、自動設定する Chromebook のウェブブラウザから閲覧できることを確認します。
2. <http://admin.google.com> で Google 管理コンソールにログインします。
3. メインのダッシュボードで、[端末管理]をクリックし、リストから [Chrome] を選択し、次に [ユーザー設定] を選択します。
4. [ユーザー設定] ページの左側に表示される [組織] ツリーで、正しい組織が選択されていることを確認します。
5. ページを下にスクロールして、[起動時に読み込むページ] を表示します。
6. 上の説明に従って作成したメタタグを含むウェブページの URL を入力します。
7. ページの下部にある [変更の保存] ボタンをクリックします。



他のポリシー設定によって異なりますが、この変更は数時間以内に Chromebook に適用されるはずですが、Chromebook をログアウトし、ログインし直すと、ポリシーは即座に更新されます。 Chromebook でポリシーを確認したり、強制的に更新するには、Chromebook の「<chrome://policy>」ページで行えます。

